



平成24年6月4日

各位

会社名 Oak キャピタル株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康  
(コード番号 3113 東証第二部)  
問合せ先 広報・IR 室長 桐村 康司  
(TEL. 03-5412-7700)

## デジタル郵便事業に続く「事業プロジェクト投資」の第2弾、 「電子レター事業プロジェクト」の開始に関するお知らせ

当社は、インベストメント事業の一環である「事業プロジェクト投資」の第2弾として、「デジタル郵便事業」と同様にモバイル・コミュニケーション分野の「電子レター事業プロジェクト」を開始いたします。  
電子レターとは、eメールの通信インフラを使い、ポストカードの形態で相手先にメッセージを送るものです。  
その概要について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 「電子レター」の概要

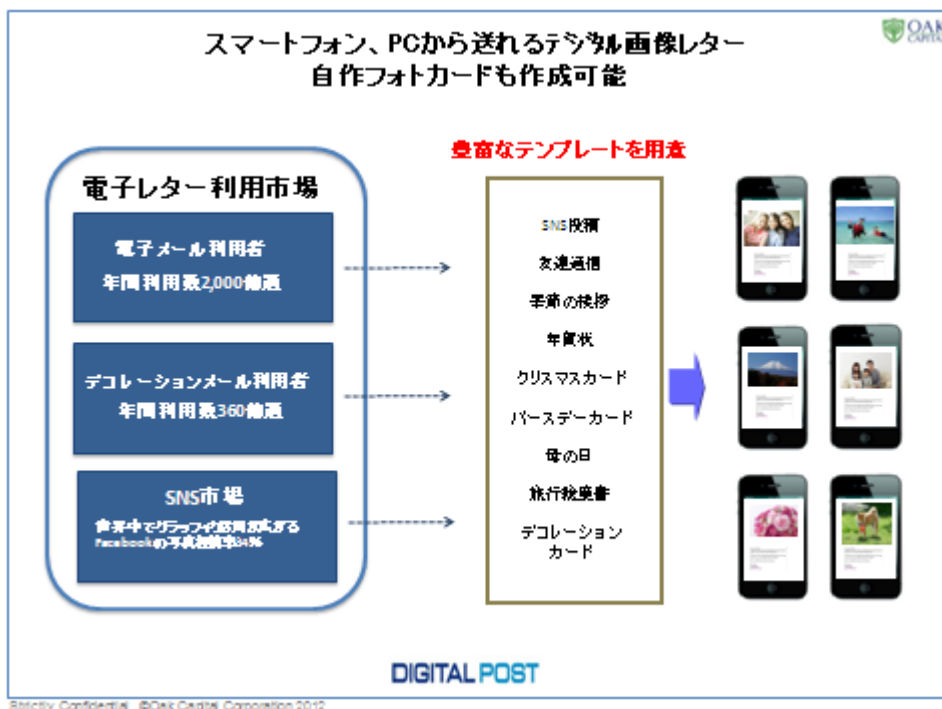
電子レターは、文章（テキストデータ）だけを送る通常のeメールとは異なり、実際のポストカードと同じデザインテンプレートを、画像で相手先のパソコンやスマートフォンにリアルタイムに送ることができる仕組みであり、欧米では「Mobile-E-Card」の名称で既に広く普及しております。電子レターは、送り先に対して通常のeメールより丁重な印象を与える手紙の形態（ポストカード、写真カード、オリジナルデザインカードなど）の画像データを使用することで、季節の挨拶や誕生日カード、クリスマスカードなどのメッセージとして活用できます。

当事業は、年間2,000億通のeメール利用者を対象に、普段のeメールでは補えない丁重さを表現でき、コミュニケーションをさらに楽しくする豊富なコンテンツを備えた「デザインテンプレート」で、広画面のスマートフォン(高性能携帯電話、以下「スマホ」)向けに、高品質なビジュアル・コミュニケーションの基盤を提供するものです。なお、電子レターの利用料金は月額200円に設定する予定で、200万人の年間利用を見込んでおります。

#### ・デジタル郵便は豊かなコミュニケーションづくりを支援



- ・ eメールをより楽しくするテンプレートと写真を活用するソフトを提供



## 2. ハイブリッド郵便はデジタルポスト社のオンリーワンサービス

先行して開始したデジタル郵便事業のハイブリッド郵便は、スマートフォンやパソコンから、簡単に手紙やダイレクトメールを郵送出来るシステムです。送り主は「LiveCard」のテンプレートを利用して手紙やポストカードを作り、送信ボタンを押すだけで、デジタルポスト社のデータ処理センターに送られたデータが、上質のレター用紙にカラー印刷されて送り先に郵送されます。送り主にとっては、手紙やカードの印刷やポスト投函の手間がかからず、いつでも、どこからでも、eメールを送るような簡単な操作で、送り先に手紙やカードを郵送することが出来ます。

このサービスはNTT ドコモ、au のAndroid 搭載スマートフォンやソフトバンクの iPhone 向けに提供しており、スマートフォン用アプリのマーケットでアプリケーションソフト（アプリ名：My レター）を無料ダウンロードすることにより利用できます。

＊サービス名及びサービスサイトのURL

個人向け： 「LiveCard」 ( <http://www.livecard.jp/> )

法人向け： 「LiveCard DM」 ( <http://biz.livecard.jp/> )

利用料金： いずれのサービスも、はがき@¥120、封筒入りカード@¥200

**無料アプリ**

**Myレター**

Android版アプリ  
**Download (無料)**  
Google play

iPhone版アプリ  
**Download (無料)**  
Available on the App Store

**LiveCard**

(URL) <http://www.digitalpost.jp/>

### 3. 電子レターとハイブリッド郵便の併用により、便利性が拡大

「バーチャルな電子レター」を使用するか、「ハイブリッド郵便でリアルな手紙」を送るか、相手先によって、2つのサービスを使い分けることが可能となりました。さらに、モバイル・コミュニケーションをより楽しく利用できるように、豊富なテンプレートを用意いたしました。季節ごとのテンプレートは130種類、スタンプは50種類から選ぶことができます。



### 4. サービス開始時期

2012年8月開始予定しておりますが、詳細は今後開示してまいります。

### 5. デジタル郵便事業プロジェクトの参加企業に関して

デジタル郵便事業は当社の企画立案により事業化され、当社の投資先である株式会社フライトシステムコンサルティング（東証マザーズ 3753）、株式会社ソフトフロント（JASDAQ 2321）、および東京リスマチック株式会社（JASDAQ 7861）、並びに、情報産業の国内大手である株式会社日立システムズによる共同事業として運営されており、昨年12月より共同出資会社のデジタルポスト株式会社を通じてサービスを提供しております。

また、当社の投資先である株式会社アイフリーク（JQ 3845）は、クリエイティブ素材等のコンテンツを提供し、当事業に参画しております。



## 6. Oakキャピタルの事業プロジェクト投資に関して

当社は2010年より中堅上場企業を主な対象として成長支援投資を実施してまいりましたが、昨今の度重なる経済環境の変化に伴い、事業の再生や新たなビジネスモデルの構築が企業経営の戦略上、ますます重要な課題になってきており、ファイナンスと同様に重要な要素となっております。

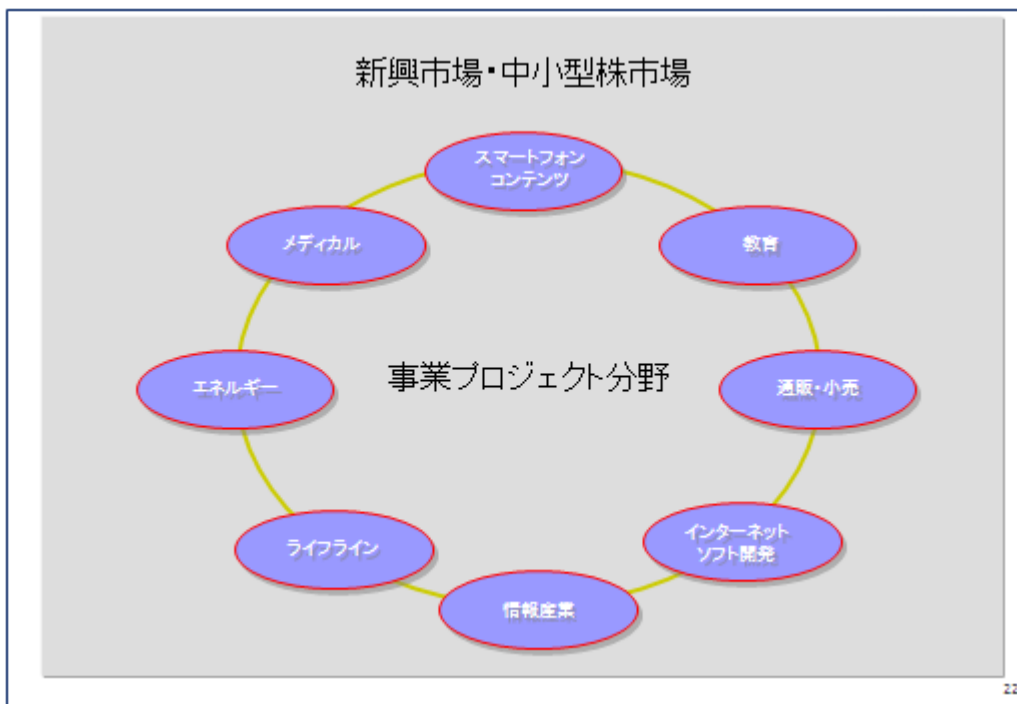
当社は、企業ネットワークや事業の創出、成長戦略の策定など、投資銀行業務の強みを活かした支援活動を得意としており、その一環として、中堅上場企業向けに事業創出プロジェクトを提案し、併せて、必要となる事業資金を提供する「事業プロジェクト投資」を行っております。

### 事業プロジェクト投資における支援内容：

- ① 企業の優位性を活かした新事業の企画・立案
- ② 企業同士の得意分野を相互活用した事業の企画・立案
- ③ 対象企業と業界大手企業の事業シナジーの構築支援
- ④ プロジェクト事業資金の調達支援

## 7. 事業プロジェクト投資の対象分野

2011年からスタートした事業プロジェクト投資の対象は、現在までのところ、スマートフォン関連の「デジタル郵便事業」並びに、このたび開始する「電子レター事業プロジェクト」ですが、これらに加え、本年度はより広範なIT事業分野、メディカル事業分野、情報産業等の新たな分野での「事業プロジェクト投資」を開始いたします。



## 8. 業績に与える影響

本件に伴う業績に与える影響は現時点では未定であります。業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、当第1四半期における当社の収益（平成24年5月28日付開示資料「平成25年3月期第1四半期連結業績の見通しについて」をご参照ください）は主に事業プロジェクト投資での成果によるものであり、今後も新たな分野での事業プロジェクト投資に注力してまいります。

以 上